

香川大学DXソリューションカタログサイト KadaSolutions / カダソリューションズ

香川大学DXラボが目掛ける大学・地域のDX推進

はじめから劇的で抜本的なDX推進を目掛けるのではなく、局所的DXを起点とした段階的で着実なDX推進

- 劇的で抜本的なDX推進を図るアプローチ** 情報システム部門が中心となって、全学的・全地域的な視座から抜本的問題を分析し、慎重に要件定義したうえで開発・運用・保守することで、組織の劇的なDX推進を図る中央集権的なアプローチ
- 段階的で着実なDX推進を図るアプローチ** (非情報系職員であっても)業務担当者主導で、身近な業務に関する局所的な視座から着実に問題点を見出して素早くシステム開発する素地を培うことで、組織の段階的なDX推進を図る分散的なアプローチ

着想 情報システム部門 (例. 香川大学 DXラボ) が開発したシステムや、これを用いた問題解決(DX)アプローチを、再利用可能なソリューションとして公開

業務担当者主導によるソリューション活用の難しさ

業務担当者は一般に情報処理技術に習熟しておらず、

- 困難性①** 自分の業務をどのようにDXできるかわからない
 - 困難性②** 開発知識がなくシステムを設計できない
 - 困難性③** 簡易なDXツール※1が与えられても利用法がわからない
- ※1 ローコード・ノーコードツールなど

システム要件

情報処理技術に習熟していない業務担当者であっても

- 要件①** 実行可能な業務DXアプローチ※2がわかるコンセプト資料の提供
※2 どんな課題をどんな着想で解決するか、どんなシステムで実現するか?
- 要件②** 既存システムを簡単に導入できるインポート用データの提供
- 要件③** 手続きをなぞるだけでシステムが実装できるマニュアルの提供
に目掛けたソリューションをカタログ(実行可能な参照モデル)として提供

カタログサイト KadaSolutions

香川大学 DX推進研究センター / DXラボ

ソリューション一覧

ソリューション詳細情報 (例. 欠席届申請システム)

狙いと機能の概要
欠席届申請システムとは?
香川大学ではコロナ禍以前は、欠席届は紙の申請用紙に必要事項を記入し、また指導教員の押印による承認を所管教員に提出する事が多かった。コロナ禍以降はオンラインシステムによる申請が可能となり、紙の申請用紙は廃止された。このシステムは、その廃止された紙の申請用紙の機能を再現し、オンライン上で申請を行うことができるように開発された「欠席届申請システム」です。

システムのデモ動画
【問題1】コロナで窓口に来られなくなった!
【問題2】事務と指導教員が押印をする必要があった!
【解決策】いつでもどこでも申請受付 + 押印(申請内容の確認)ができるFormsのシステム

しんどい時も家から申請「欠席届申請システム」

ドキュメントのダウンロードリンク

- インポートデータ
- 案件シート
- インポートマニュアル
- インポートデータ

ドキュメントをまとめたzipファイルをダウンロード

DX推進したい業務担当者

- 提供物①** ソリューションのコンセプト資料
自分が取り組んでいるこの業務と同じだし、DXに繋がらそう!
- 提供物②** ソリューションデータ本体 (インポートのみで完結するデータ)
Power Automateにこのzipを、Share PointにこのCSVをインポートすれば①ができるんだな
- 提供物③** ソリューションの導入手続きマニュアル (展開手順書)
この手順で操作して②のデータをインポートすればいいんだな

掲載中ソリューション一覧 (2024年7月1日現在 10システム)

学務・学生系システム (4個)

- 学生便覧チャットボット
- オンライン就活用個室BOX予約システム
- 履修取消申請システム
- 欠席届申請システム

総務・会計・人事系システム (4個)

- 出張申請システム
- 教員向け休暇申請システム
- 勤務時間記録システム
- 電子決済システム

研究系・可視化系システム (2個)

- 科研費申請問い合わせ対応チャットボット
- 欠席届申請システム利用状況レポート

※順次、新規ソリューションを追加予定



こちらから
実際のカタログを
ご覧ください!

<https://dx-labo.kagawa-u.ac.jp/system/>

カタログサイトの運用実績

※2024年7月1日現在

サイト訪問者数 (累計)

31646
screenPageViewsの合計

サイト訪問者数 (ユニークユーザ)

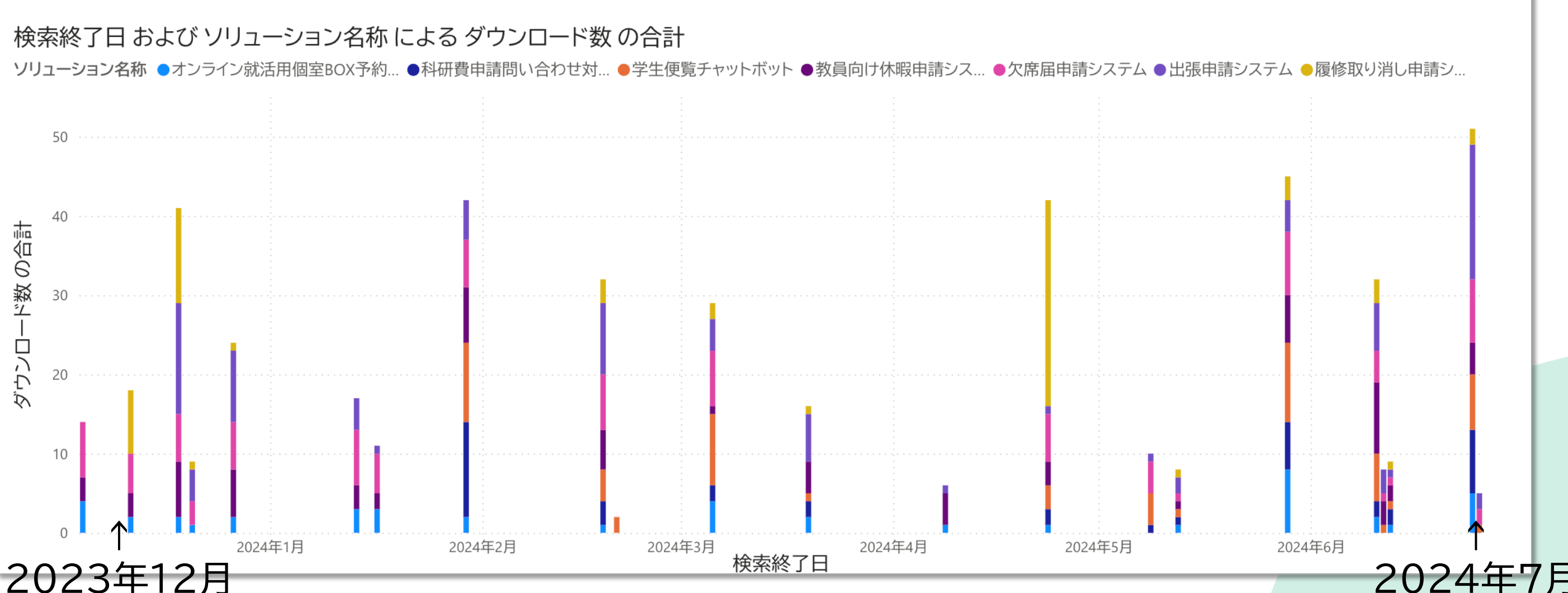
6903
newUsersの合計

1年間での
● 一定の訪問者数
● 一定のリピート率

ダウンロード数

801
ダウンロード数の合計

インポートしてすぐ使えるDXソリューションが約半年間で801回もダウンロードされた!



KadaSolutionsの効用・感触

- Microsoft365を導入している組織であれば利用可能な最小限かつ実行可能なソリューション(MVP)を配布
- (実利用の有無は不明だが)短期間に一定数配布できた!
- ワークショップやハンズオンなどの人材育成イベントとの相乗効果で普及率が向上した!

今後の展望

- DX推進ノウハウの発信
- 先駆的ソリューションの発信
- ローコード・ノーコード開発の行き詰まりポイントやバッドマナー、失敗事例を記事として公開
- これまでのシンプルなソリューションから進んで)生成AIや外部APIを活用したソリューションの配布